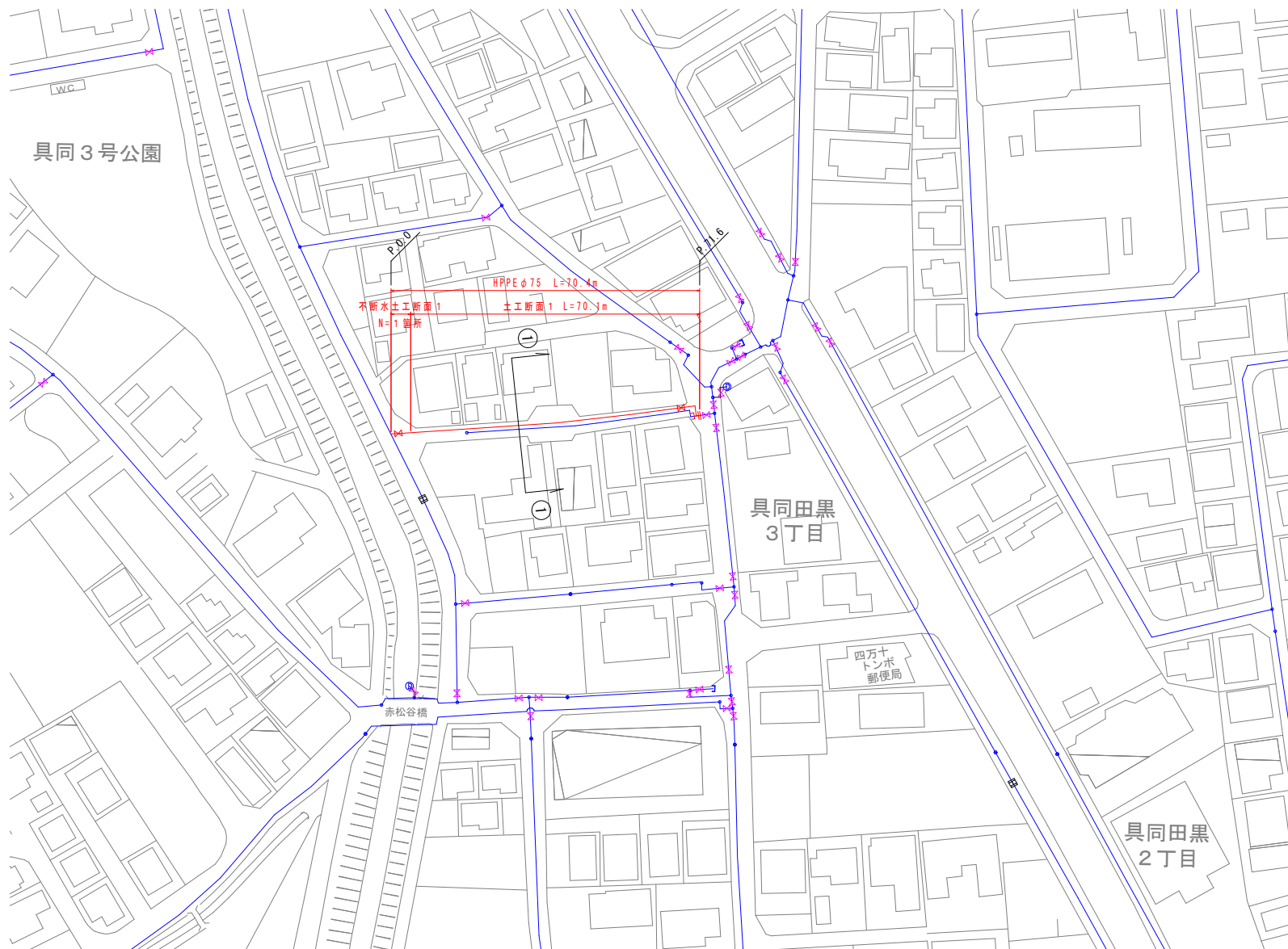


凡 例

—	新設配水管
—	既設配水管
田	消火栓
✕	仕切弁

一 般 平 面 図

S=1:500



対象図面	HPPEφ75
配管詳細図1	70.4
合 計	70.4

四 万 十 市			
工事種別	令和7年度 上水工 第10号 具同地区具同田黒配水管市役所設置工事		
図面名称	一般平面図	縮尺	1/500
路線河川名			
工事箇所	高知県 四万十市 具同田黒 地内		
設計種別	実施設計図		
事務所名	四万十市 上下水道課	図面 番号	1
会社名			3

口径	許容曲げ半径
φ50	5.0m
φ75	7.0m
φ100	9.5m
φ150	13.5m
φ200	19.0m

配管詳細図1-1

※管種は、HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
※メカ形異形管類は、粉体塗装で離脱防止金具付とすること。
※管埋設部には、埋設表示シートを布設すること。
※鋼鉄製異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
※できる限り曲管を使用せずに許容曲げ半径の範囲内で布設すること。

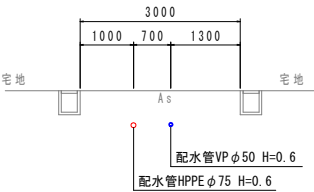
横断面

S=1:50

※横断面測点における新設管の占用位置・深度を管理すること。

1-1

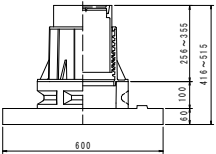
(P.25.0付近)



ボックス標準図

S=1:10

円形1号 H=600用(φ~150)



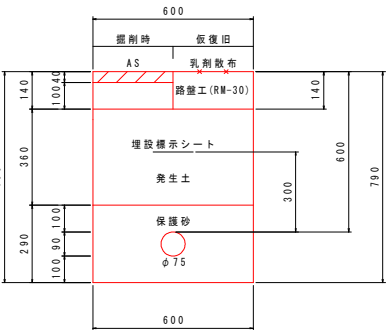
鉄蓋(ネジ式)
設置リング
底版

掘削断面図

土工断面1

S=1:10

市道 車道 AS舗装(両切) H=0.6 φ75

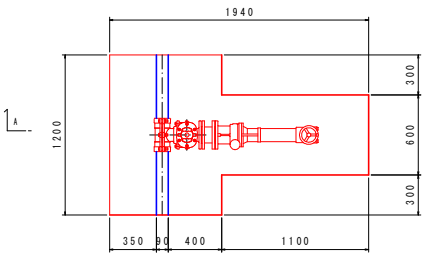


不排水土工断面1

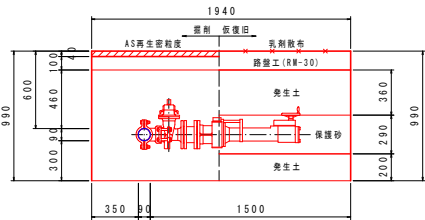
S=1:20

市道 車道 AS舗装 不排水連絡工φ75×φ75 H=0.60

(既設管: H1VPφ75)



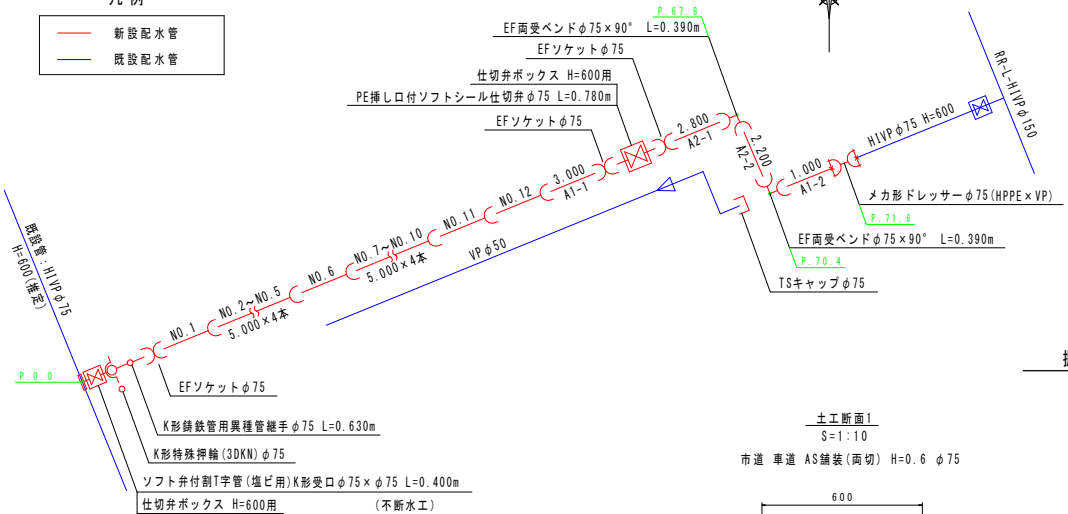
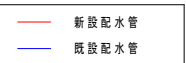
(A-A)



管割図

S=NON

凡例



水道配水用H1VP管切管調査 HPPEφ75:直管L=5.000m

		※Vは切断位置			
番号	口径	切管組み合わせ	有効長	残管長	計
(1)~(12)	75	5.000 (1)~(12)	5.000	0.000	5.000
A1	75	3.000 (A1-1) 1.000 (A1-2)	4.000	1.000	5.000
A2	75	2.800 (A2-1) 2.200 (A2-2)	5.000	0.000	5.000
(合計)					3

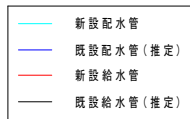
舗装構成図

S=1:10



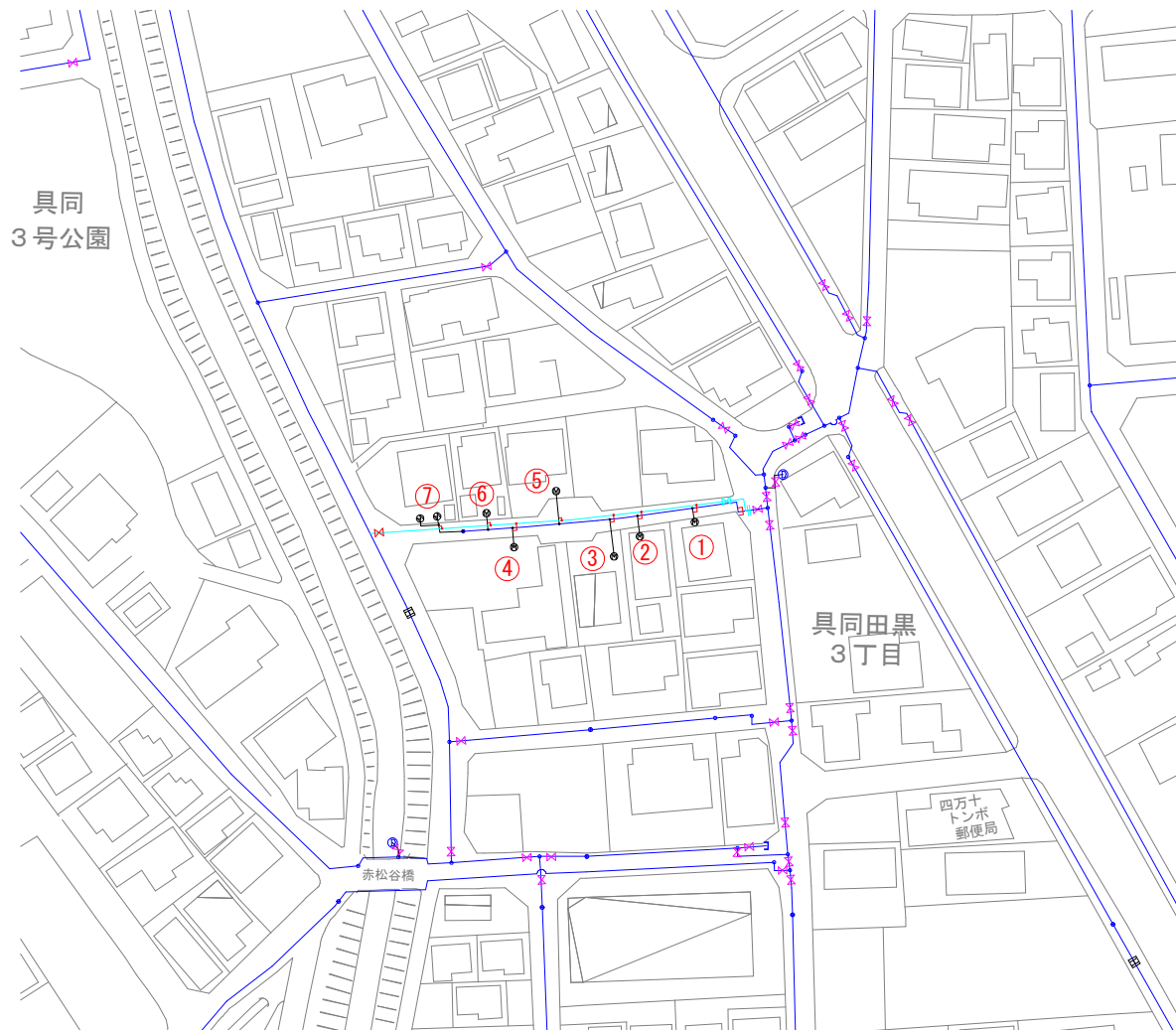
給水管接合替詳細図 1

凡例



一般平面図

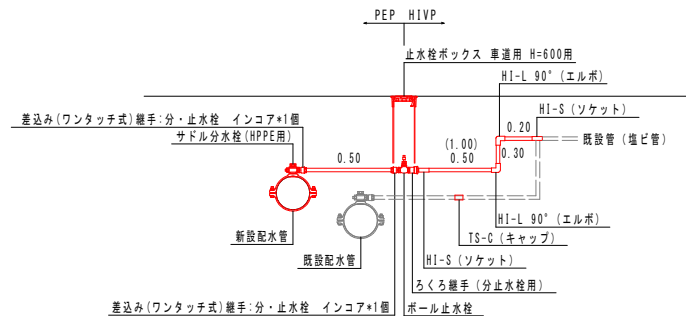
S=1:500



標準図

S=NON

※差込み(ワンタッチ式)継手には、樹脂製インコアを設置すること。
※止水栓より宅内側は、HIVPで施工すること。
下図は標準的なものであり、既設管の配管状況により適宜対応すること。
※既設給水管の止水は可能な限りサドル分水栓で行うこと。



1箇所当り数量

サドル分水栓 N=1個

PEP L=0.50m

HIVP L=1.00+0.30+0.20=1.50m ①～④ () 内数値

HIVP L=0.50+0.30+0.20=1.00m ⑤～⑦

差込式(ワンタッチ式)継手:(分・止水栓用ソケット) N=2個

樹脂製インコア N=2個

ボール止水栓 N=1個

ろくろ継手(分・止水栓用) N=1個

H1-S(ソケット) N=2個

H1-L(エルボ) N=2個

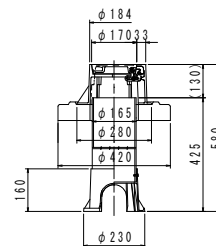
TS-C(キャップ) N=1個

止水栓ボックス(H=600用) N=1個

止水栓ボックス標準図

S=1:10

※蓋、受枠はパイプ上面から130mmを基準に設置すること。

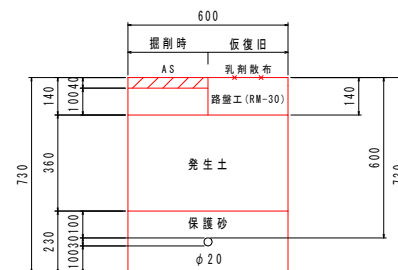


掘削断面図

土工断面A

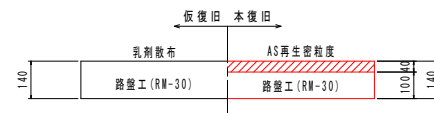
S=1:10

市道 車道 AS舗装(両切) H=0.6 φ20



舗装構成図

S=1:10



四万十市			
工事種別	令和7年度 上水工 第10号 具同地区具同田黒給水管管地盤工事		
図面名称	給水管接合替詳細図1	縮尺	図示
路線河川名			
工事箇所	高知県 四万十市 不破外		
設計種別	実施設計図	図面番号	3
事務所名	四万十市 上下水道課	会社名	3